

## 日本建築学会の高度コンクリー施工指針（案）

### 1 1 章 コンクリートの品質管理・検査

#### 1 1. 3 コンクリートの品質管理・検査

##### 表 1 1. 1 フレッシュコンクリートの判定基準

コンクリート温度 35℃以下

### 土木学会のコンクリート標準示方書

#### 13章 暑中コンクリート

##### 1 3. 1 総則

- (1) 平均気温が 25℃を超える時期に施工することが想定される場合には、暑中コンクリートとしての施工を行なうことを標準とする。
- (2) 暑中コンクリート施工にあたっては、高温によるコンクリートの品質低下がないように、材料・配合・練り混ぜ・運搬・打ち込み及び養生等について、適切な措置をとらなければならない。

##### 1 3. 5 運搬

コンクリートの運搬は、コンクリート温度上昇及び乾燥が生じないように装置、方法をとらなければならない。

##### 1 3. 6 打ち込み

コンクリートを打ち込む前には、地盤、型枠等、コンクリートから給水する恐れのある部分を湿潤状態に保たなければならない。又、型枠・鉄筋等が直射日光を受けて高温になる恐れのある場合には散水・覆い等の適切な措置を施さなければならない。

コンクリートの打ち込みは、練り混ぜ後できるだけ早い時間に行なわなくてはならない。練りませ開始から打ち終わるまでの時間は、1.5 時間以内を原則とする。

打ち込み時のコンクリート温度は、35℃以下でなければならない。なお施工にあたっては、コンクリートの温度を測定し必要により、施工計画を変更するものとする。